

分析機器部門講習会シリーズ

「4D-Nucleofector Y Unit 講習会」のお知らせ（デモ）

分析機器部門所有の遺伝子導入装置Amaxa Nucleofector II Deviceの後継機種のご紹介です。

【概要】

リポフェクションによる遺伝子導入は初代細胞では困難とされています。4D-Nucleofector Y Unitは初代細胞における接着状態での遺伝子導入を効率的に行うことができます。講習会では、本機器の持つアプリケーションについてご説明いたします。

接着状態での遺伝子導入により、①分化した状態を維持したままの遺伝子導入 ②細胞を剥がさないことによる生存性の向上 ③細胞間ネットワークを維持した状態での遺伝子導入が可能になります。特に神経細胞において実績が多数ございます。

ご希望者には細胞・導入基質をご準備頂き、講習会当日に遺伝子導入を行って頂くことが可能です。



日時：平成24年 5月10日（木）13:30～15:00

受講対象：利用者

講習内容：
・Y Unitに関する講習（45分程度）
・Y Unitを使用したデモ（1回の所要時間 10～15分）

場所：分析機器部門遺伝情報解析室研究室14《旧西病棟4階（大学院実習室）》

定員：10人

受講料：無料

申込期間：平成24年5月2日（水）まで

申込方法：電子メールで、Subjectを「Lonza」とし、「所属講座名」「氏名」「内線番号」「電子メールアドレス」を明記の上、yitoh@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申込ください。

*デモご希望の方は、使用する細胞種についてお知らせください

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

（内線: 2403, Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp）

* Webでも講習会情報を掲載しています(URL: <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/>)